



「タイルのまちをあるいてみた studio record」展 関連企画

いろんなワークショップで
「タイル」を感じよう

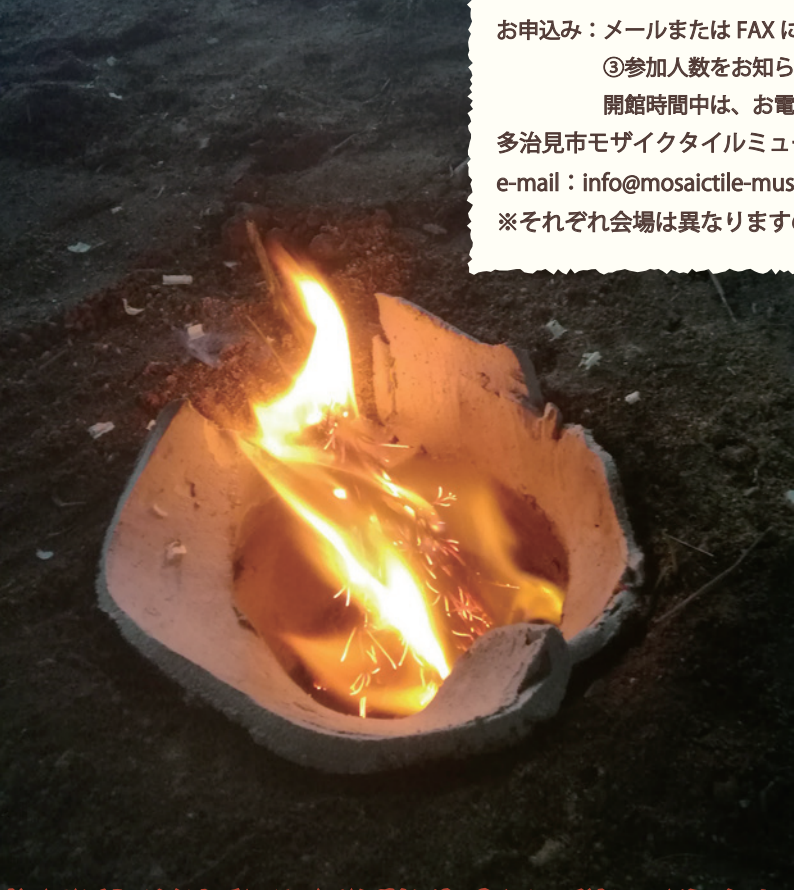
お申込み：メールまたは FAX にて、①お名前 ②ご連絡先
③参加人数をお知らせください。

開館時間中は、お電話でのお申し込みも可能です。

多治見市モザイクタイルミュージアム

e-mail : info@mosaictile-museum.jp FAX : 0572-43-5114

※それぞれ会場は異なりますのでご注意ください。



黒板タイル作り

黒板として使えるタイルを、パターンを意識しながら立体的に貼り、どこにもない黒板を作ります。

日時：2023年3月21日（火・祝）13時～16時

会場：多治見市笠原中央公民館

（モザイクタイルミュージアムの隣）

定員：20名（要申込）

参加費：1,000円（税込）

講師：高山愛（陶芸家、スタジオレコードマネージャー）、
森川昌美（陶芸家、スタジオレコード）



リサイクル・タイルの ワークショップ

不用になったタイルは粉碎され、また原料に戻ります。その粉碎途中のタイルを使い「雲」のオブジェを制作します。

日時：2023年3月26日（日）①10時～12時30分、

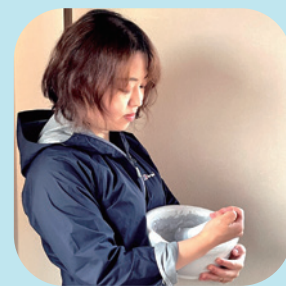
②14時～16時30時（予定）

会場：アクティブG（岐阜市・JR岐阜駅）

定員：各10名（要申込）

参加費：800円（税込）

講師：小澤順一（陶芸家、スタジオレコード講師）、
樋口実奈海（陶芸家、スタジオレコード）



アースポット・ワークショップ

加藤真美のオリジナル技法として、これまで世界中で現地の人と共に制作してきたプロジェクト。

地面に穴を掘って、大地を型とした器を製作します。今回は特別に笠原バージョンとして、素材にリサイクルタイルが練り込まれた粘土を使い、後日焼成します。

日時：2023年4月15日（土）13時～17時

会場：岐阜県セラミックス研究所（多治見市）

※雨天の場合はご連絡します

定員：15名（要申込、小学生以上）

参加費：1,000円（税込）

講師：加藤真美（陶芸家、愛知県立芸術大学非常勤講師、とこなめ陶の森研修工房講師、スタジオレコード講師）



循環する大地

再生原料を使ったワークショップ

今までは活用されてこなかった土（青サバ）や不要になったタイルの再生原料などを混ぜ、自分好みの粘土にし、陶板（大判タイル）を作ります。作品は後日焼成します。

日時：2023年5月3日（水・祝）13時～16時

会場：岐阜県セラミックス研究所（多治見市）

定員：15名（要申込、小学生以上）

参加費：800円（税込）

講師：宮部友宏（陶芸家・造形作家、スタジオレコードディレクター）、
小稲彩人（岐阜県セラミックス研究所主任専門研究員）

